

2026年8月期 第2四半期（中間期）決算説明会
（2025年9月～2026年2月）

株式会社ハピネス・アンド・ディ

2026年5月1日
（東証スタンダード 3174）

HAPPINESS

2026/8月期第2四半期（中間期） 決算総括

株式会社ハピネス・アンド・ディ

序章：環境認識

第一部：ハピネスアンドディ

第二部：AbHeri

第三部：No.

第四部：JUNGOLD事業

第五部：連結業績予想

目次

1	序章：環境認識	
2	外部環境	
3	グループ相関図	
4	第1部：ハピネス・アンド・デイ	
5	2026年8月期中間期決算ハイライト【単体】	
6	ハピネス・アンド・デイを取り巻く環境	
7	既存店売上高 前年比 月次推移単体	
8	既存店粗利/粗利額前年比の推移単体	
9	商品区分別売上高：4 カテゴリー	
10	商品の販売動向：地金ジュエリー	
11	商品の販売動向：ヴィンテージ（リユース）商品	
12	2026年8月期中間期 決算概況 連結	
13	2026年8月期中間期 資本増強、上場維持基準クリア	
14	2026年8月期下期計画 買取事業の強化	
15	〃 顧客エンゲージメント（買取事業）	
16	〃 ヴィンテージ商品拡大	
17	〃 地金・ヴィンテージ商品の粗利・在庫	
18	2026年8月期計画 業績予想単体	
19	第2部：Abheri	
20	2026年8月期中間期ハイライト【単体】	
21	中間期総括	
22	海外市場への対応	
23	商品戦略について	
24	第3部：No./ナンバードット	
25	2026年8月期中間期ハイライト【単体】	
26	中間期総括	
27	ブランド商品イメージ①	
28	ブランド商品イメージ②	
29	ポジションと顧客イメージ	
30	今後の活動	
31	第4部：JUNGOLD事業	
32	純金販売事業について	
33	EC販売の強化	
34	オーダーメイド販売	
35	第5部：連結業績予想	
36	2026年8月期 連結業績予想	

2026年8月期第2四半期（中間期）決算総括

序章：環境認識

第一部：ハピネスアンドディ

第二部：AbHeri

第三部：No.

第四部：JUNGOLD事業

第五部：連結業績予想

序章：外部環境

為替安、物価高騰が継続

- 円安基調の継続、物価高による節約志向
- 外部環境の好転見込みづらいつら状況が継続

地金相場の高騰

- 金価格は引き続き高騰、安全資産としての地金商品の魅力高まる

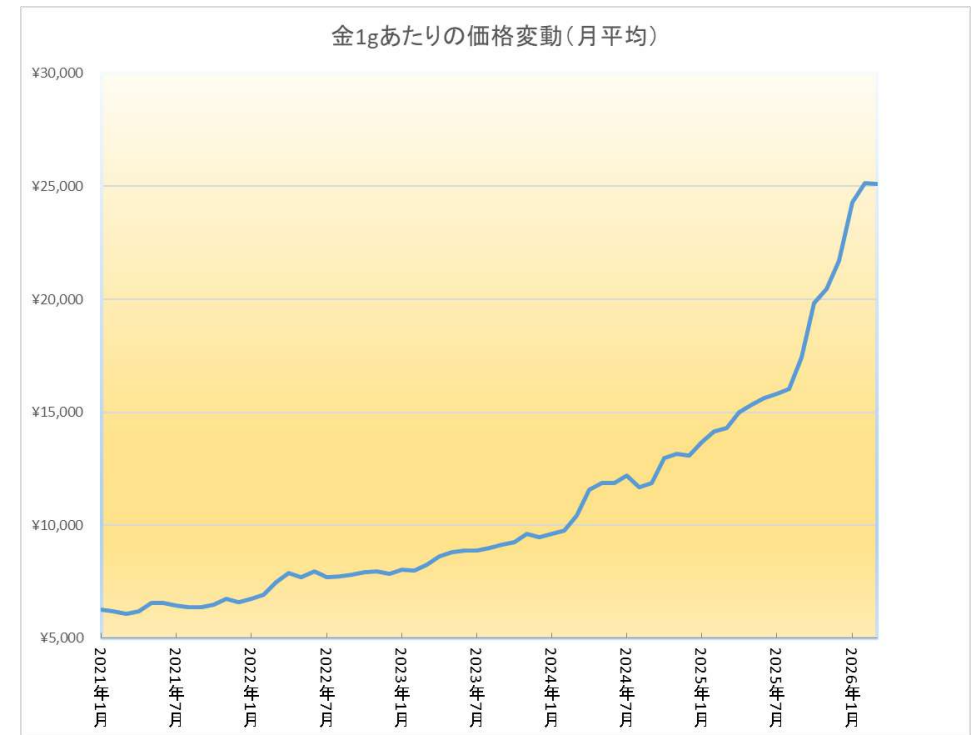
中東情勢の悪化

- 石油関連物資調達難による景気への影響懸念

リユース市場の拡大

- 市場規模目標2024年3兆5千億円 ⇒ 2030年4兆6千億円（環境省）
(32%増)

< 金相場の継続的上昇により、金商品の販売に好影響 >



グループ相関図



事業提携先



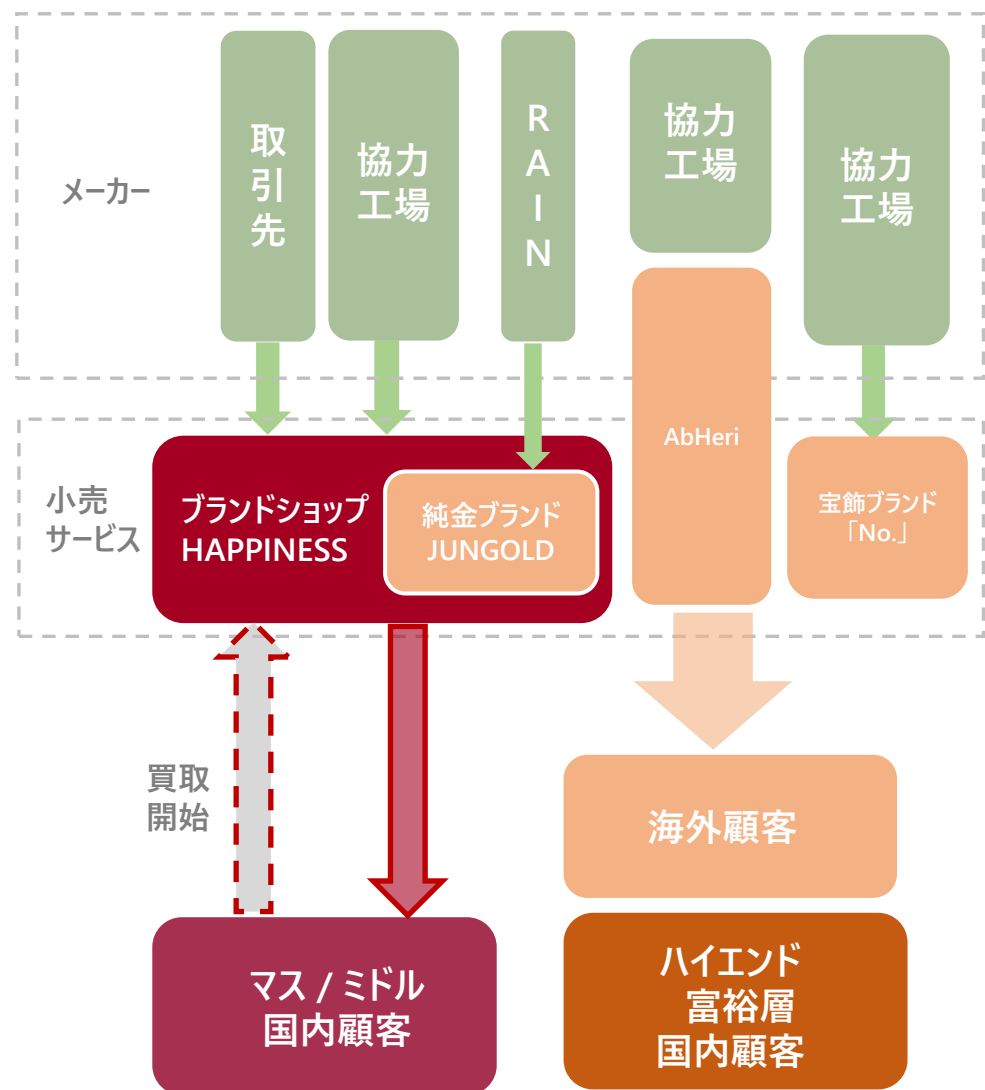
RAIN

純金製品 支援
JUNGOLD事業を譲受
(2026年1月より)



Gold Plaza

買取事業 サポート
リユース品買取事業の
ナレッジ・ノウハウの提供
買取事業の支援
(2025年10月より)



No.

都市型モデル
ユニセックスジュエリー
都市に働くキャリア女性をイメージ
「私に生まれてよかった」
「最強の自分になる」

AbHeri

都市型モデル
細部まで手の込んだジュエリー
宝飾が好きな女性をイメージ
「過去を継承し、新しい挑戦を経て
未来を創造する」



郊外型モデル
宝飾・時計・雑貨のセレクトショップ
郊外に住むファミリー層をイメージ
贈り物を選ぶ「Anniversary Gift Shop」



HAPPINESS

2026年 8 月期第2四半期（中間期） 決算総括

序章：環境認識

第一部：ハピネスアンドディ

第二部：AbHeri

第三部：No.

第四部：JUNGOLD事業

第五部：連結業績予想

2026年8月期 中間期 決算ハイライト【単体】

◆ 宝飾品、地金商品が好調

宝飾品の販売強化を継続・粗利率の改善進む

金価格の高騰もあり地金商品が伸長

◆ ヴィンテージ（リユース）商品取扱いをほぼ全店にまで拡大

ヴィンテージ商品取扱店舗を55店舗中54店舗まで拡大

下期重点課題とする買取事業とあわせて、商品充実・利益率向上に取り組む

◆ 粗利率の向上により、営業損益黒字化

粗利率改善への取り組みは着実に成果を上げ持続的に向上し

前年同期 31.1% → 当中間期 33.6%へアップ（総額売上高ベース）

◆ エクイティファイナンスによる、財務基盤と資本の増強

改善期間中にあった東証上場維持基準もクリア

2025年11月発行の第三者割当による新株予約権の権利行使が全額完了

東証上場維持基準（流通株式時価総額）を充足

ハピネスアンドディ

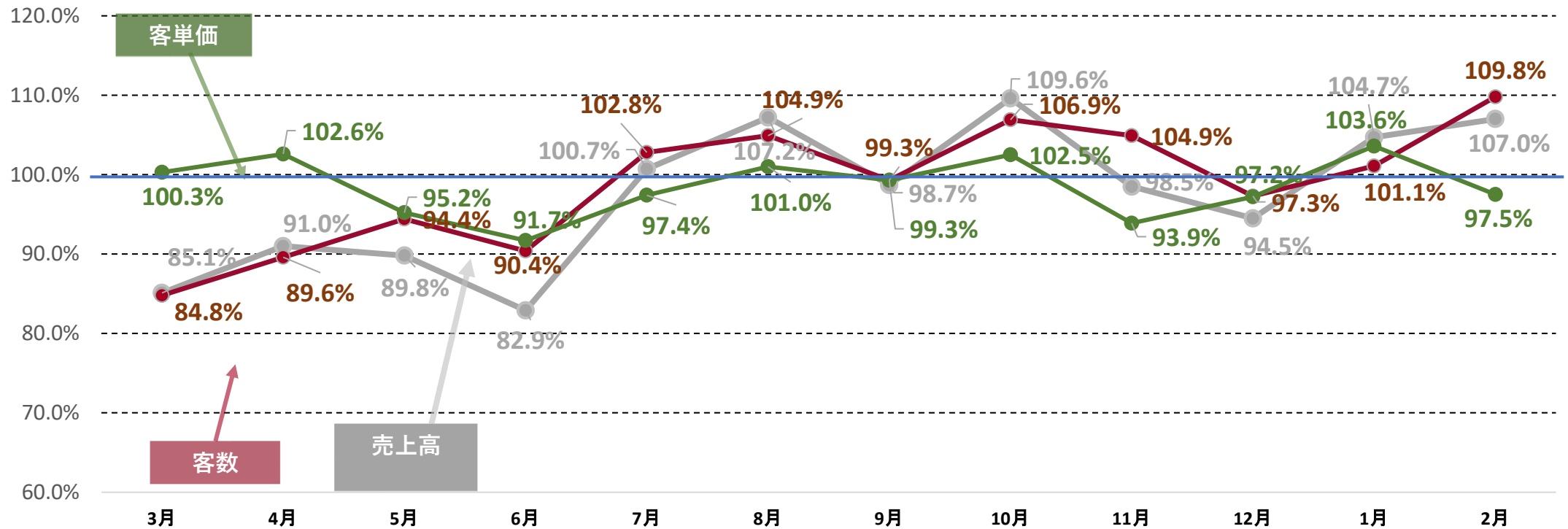


ハピネスアンドデイを取り巻く環境



既存店売上高 前年比 月次推移【単体】

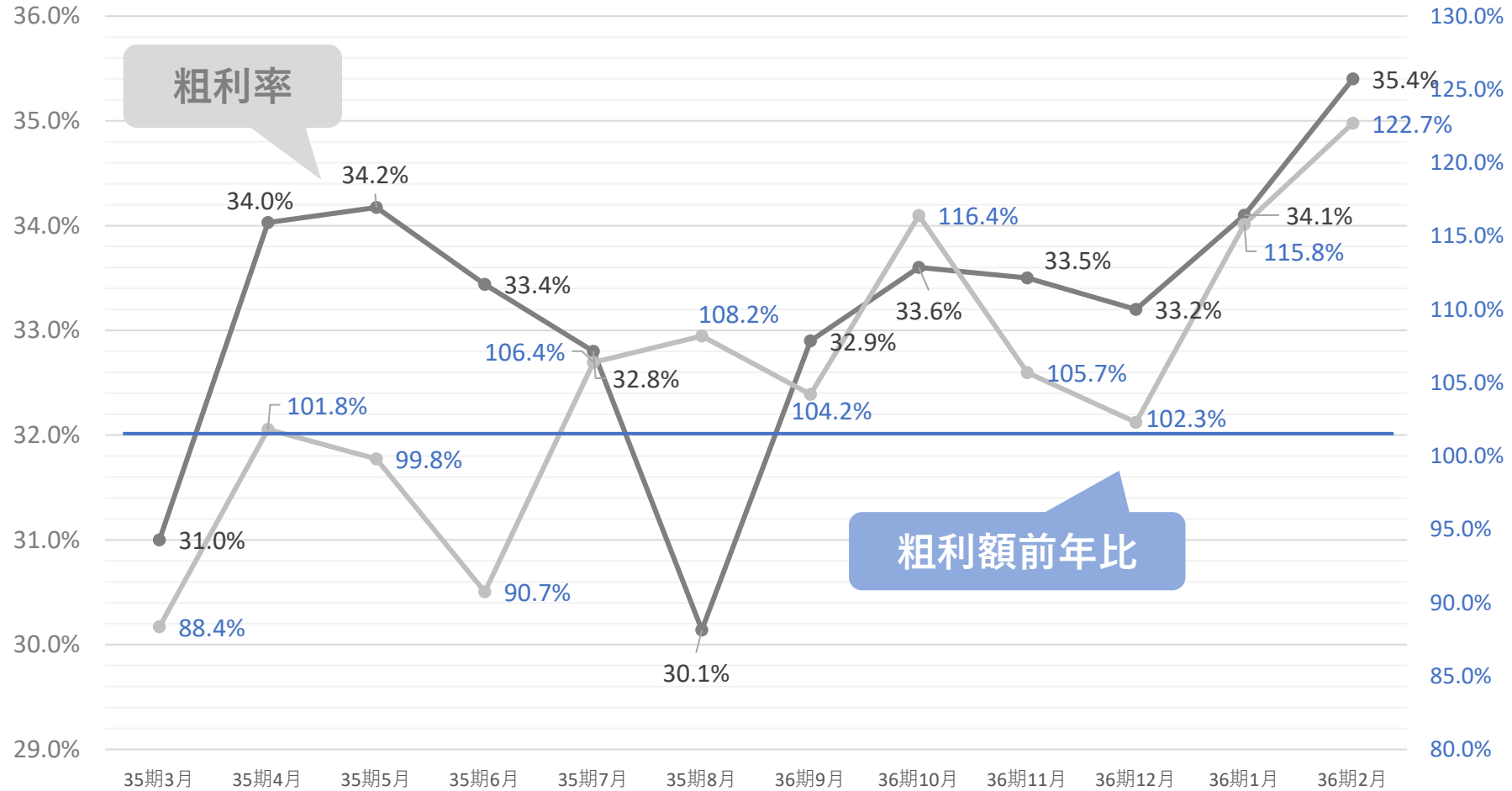
宝飾・地金商品の強化・ヴィンテージ導入により、実績数値が改善傾向に



2026年 8月期 中間期 (12か月間推移)

既存店 粗利率/粗利額前年比の推移【単体】

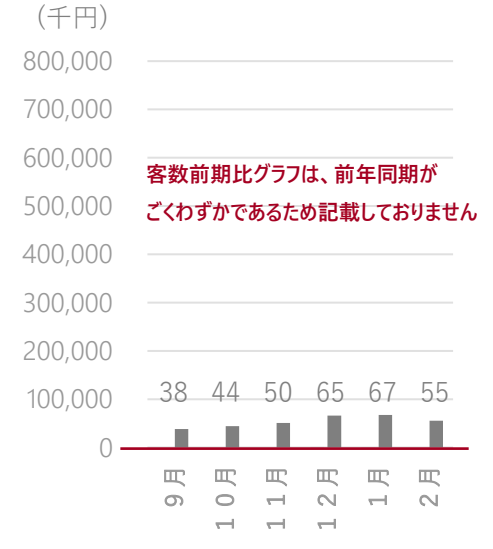
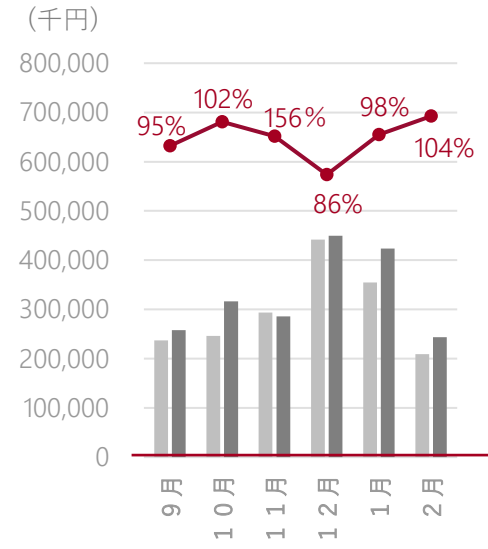
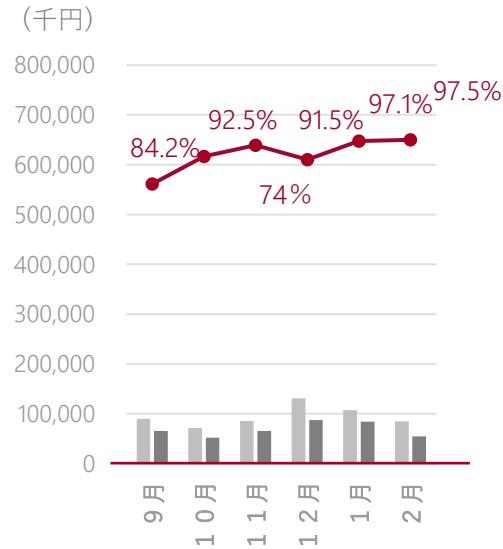
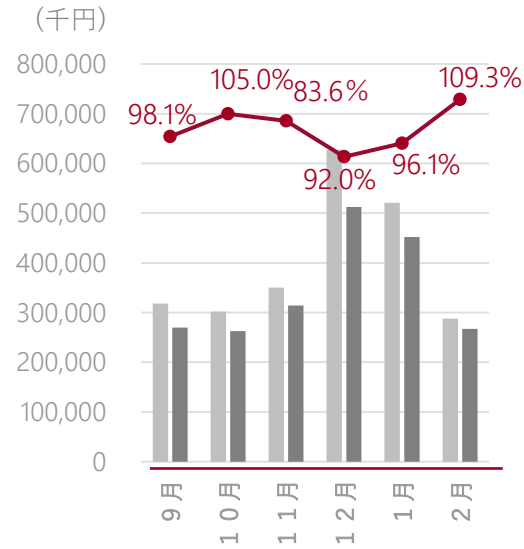
宝飾・地金商品の強化により、粗利率・粗利額ともに向上（総額売上ベース、12ヵ月推移）



商品区分別売上高：4 カテゴリー【単体】

売上 前期
 売上 今期
 客数 前期比

**バッグ・小物の価格高騰による落込みはカジュアル商品とヴィンテージでカバー、
 宝飾品は地金商品が引続き順調に伸長
 （単体、既存店、総額売上ベース）**



客数前期比グラフは、前年同期が
ごくわずかであるため記載しておりません

バッグ・小物	時計	宝飾	ヴィンテージ（リユース品）
--------	----	----	---------------

バッグ・小物は、海外ブランドの価格上昇が続くが、カジュアル商品を強化したことで、**単体ベース売上前同期比は 13.6%減**（顧客需要がヴィンテージ販売にシフト）

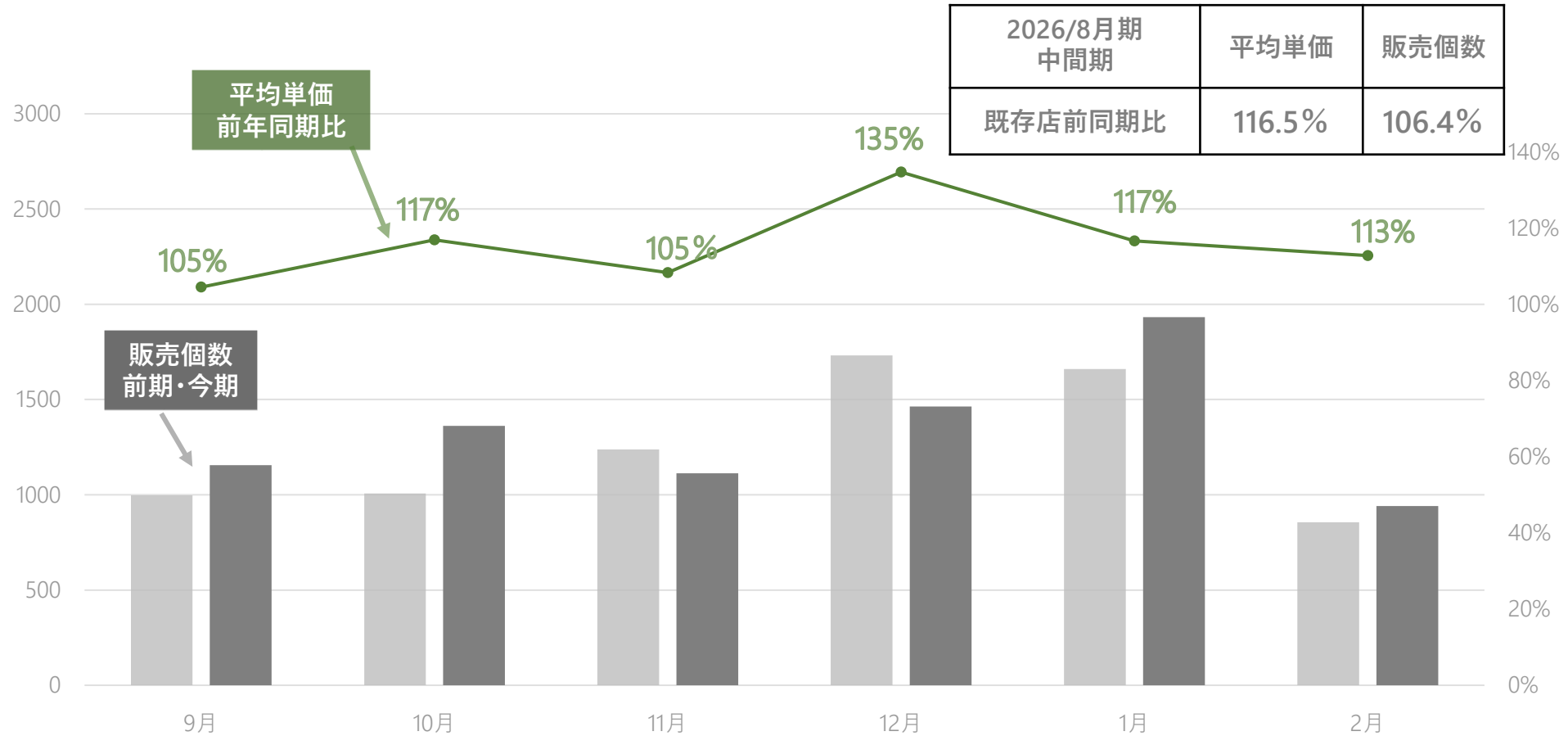
価格上昇による海外ブランドの落込みと時計市場の縮小もあり、商品展開を絞った結果、**同28.3%減**

宝飾品は、ジュエリーの好調に加え、金価格高騰を受けた地金商品の販売が大きく伸長したことで、**同11.0%増**

2025年3月より開始したヴィンテージ商品の導入は、55店舗中54店舗に拡大。売上規模の面で今後拡大余地見込む

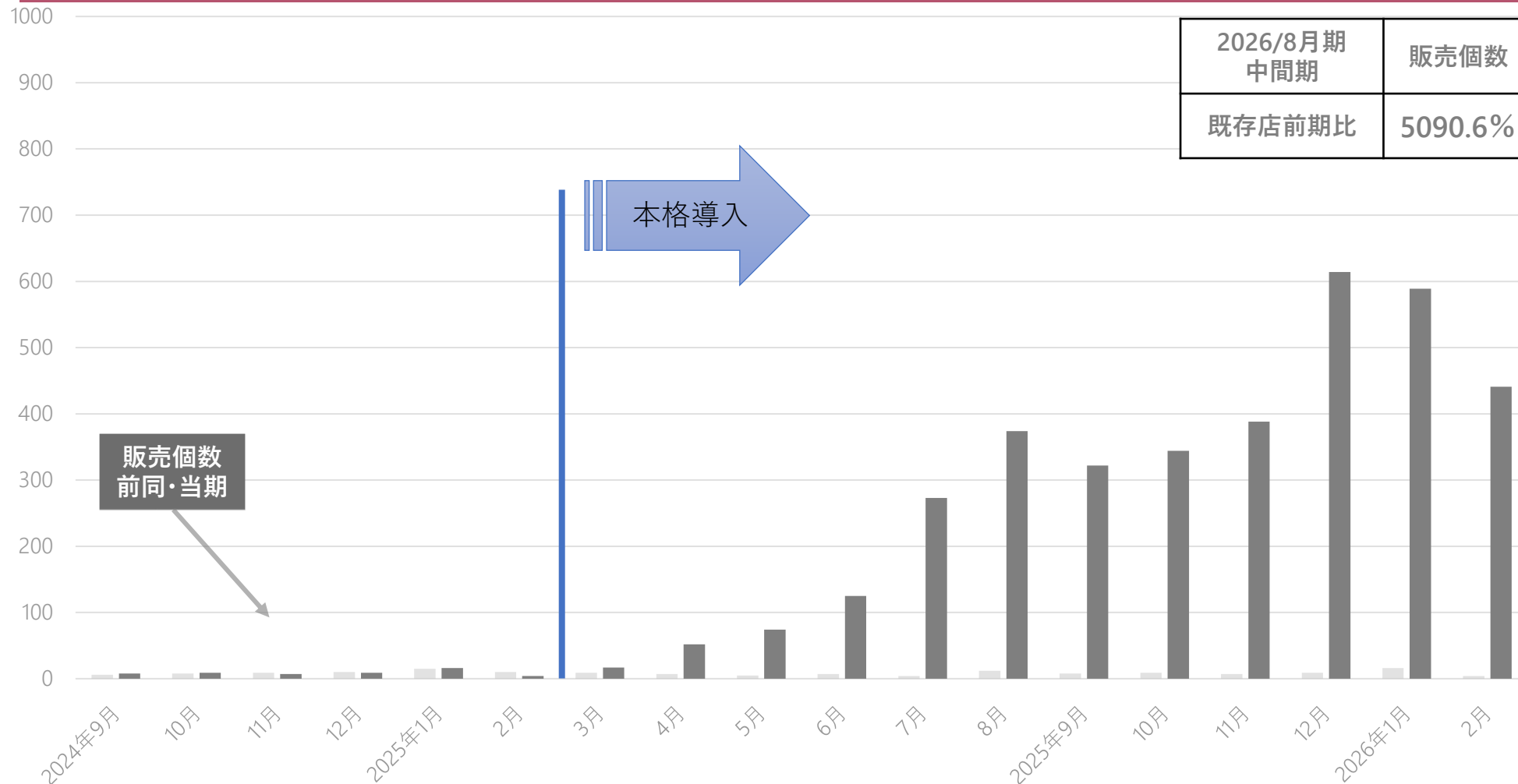
商品の販売動向：地金ジュエリー

金価格高騰で平均単価上昇し前年同期比 116.5%、展開強化で販売個数も同 106.4%となる



商品の販売動向：ヴィンテージ（リユース）商品

ヴィンテージ商品の販売数は上期においても順調に増加



2026年8月期 中間期 決算概況【連結】



	2025/8月期 中間期 (千円)	構成比	2026/8月期 中間期 (千円)	構成比	増減率	増減額
売上高	4,726,275	100%	4,387,503	100%	△7.2%	△338,772
売上総利益	1,891,700	40.0%	1,830,572	41.7%	△3.2%	△61,128
販管費	1,973,618	41.8%	1,826,113	41.6%	△7.5%	△147,505
営業利益	△81,918	-	4,459	0.1%	-	86,377
経常利益	△97,528	-	△16,885	-	-	80,643
特別利益	-	-	4,860	-	-	4,860
特別損失	40,815	0.9%	13,778	0.3%	△66.2%	△27,037
税金等調整前 当期純損失	△138,344	-	△25,804	-	-	112,540
法人税等合計	66,926	1.4%	10,272	0.2%	△84.6%	△56,654
親会社株主に 帰属する 当期純損失	△205,270	-	△36,076	-	-	169,194

売上高

宝飾・金商品は好調であったが、雑貨の海外ブランド価格高騰の影響が続き、店舗数の減少もあり、前期比 7.2%減となった。

売上総利益

利益率の高い宝飾品・プライベートブランドの拡充、時計の縮小、リユース導入を進めた結果、粗利率は41.7%へのアップとなった。

営業利益

閉店効果や人件費を中心とした販管費の削減に努め、売上の落ち込みがあったものの、粗利率向上もあり、営業利益4百万円への黒字化となった。

特別利益

店舗閉鎖損失引当金戻入額4百万円を計上。

特別損失

3店舗の減損損失、社債の繰り上げ償還損等により13百万円を計上。

当期純損失

36百万円の純損失。前年同期より改善。

2026年8月期 中間期 資本増強、上場維持基準クリアについて

2025年11月発行の第三者割当による第13回新株予約権の全額行使完了
財務基盤の強化・資本増強とともに、東証上場維持基準も改善期間中に充足

◆第13回新株予約権（行使価額修正条項付）：新株予約権6,000個（普通株式600,000株）

	2025年8月末	2026年2月4日 全額行使完了	2026年2月末
発行済株式数（株）	2,591,600	+600,000	3,191,600
資本金（千円）	352,284	+325,340	514,955
資本剰余金（千円）	340,365		503,035
純資産額（千円）	198,928		495,589

◆上場維持基準の充足（2026年3月19日「上場維持基準充足のお知らせ」）：上場廃止懸念解消

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率
適合状況	2026年2月28日時点	5,467人	17,479単位	11.03億円	54.7%
上場維持基準		400人	2,000単位	10億円	25%
2026年2月28日時点の適合状況		適合	適合	適合	適合

買取事業の強化

循環型社会を目指し、MEGURU Projectを始動

SDG's の新たな取り組みとして、買取事業を本格的に開始
不要になった大切なものを必要な誰かに循環させることで、経済成長と環境保全が調和
する未来に向けた取り組みを開始

買取ノウハウを取り入れるため、店舗研修を開始

(株)Clarisse（「ゴールドプラザ」運営）と業務提携
2026年2月より買取ノウハウの研修を開始し、サービスをリニューアル

2026年4月末時点で11店舗で研修が完了



MEGURU
PROJECT
for someone's HAPPINESS

買取・下取りサービスについて

めぐる、大切なもの

あなたの大切だったものが、誰かの大切なものへ。

大切に使っていたもの、大切な誰かからもらったもの
使わなくなってしまった大切なものたちは
きっとどこかで誰かの新しい大切なものになる。

あなたの大切だったものがめぐり、
誰かの大切だったものがあなたにめぐる。



ハピネスはそんなファッションの形を
買取サービスを通してお客様と創りあげていきたい。

MEGURU PROJECT for someone's HAPPINESS

不要になったものを「捨てる」ではなく、必要な「だれか」にお届けする。
MEGURU Project は買取サービスを通してハピネスがあなたの、そしてだれかの幸せのため、
大切なものをめぐらせていくお手伝いをしていくプロジェクトです。

物の係るサービスの輪を拡大し、顧客エンゲージメントを高める

修理・メンテナンスサービスの強化

自社買取商品の一部はメンテナンス等を行い、自社でも販売を行うことで、自社での循環を同時に開始

店頭での修理・補修サービスの提供を強化し、様々なお客様のニーズを満たしていく

販売・補修・買取を通して、顧客との関係性を強化

販売から修理、最終的には不要になったものの買取までのサービスをすべて担うことで、「物」の一生に寄り添い、その時々に応じたサービスを提供する業態にシフト

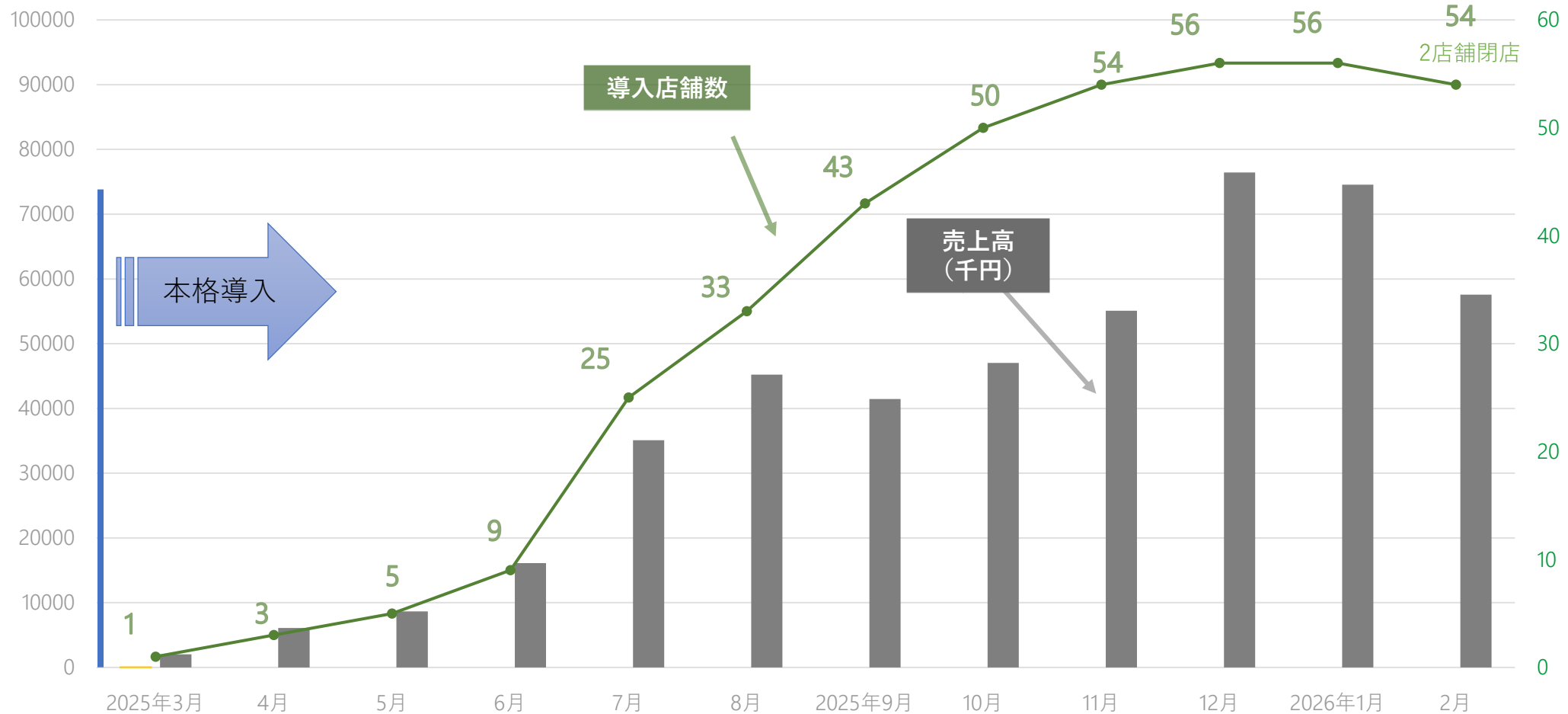
販売で培った接客力と顧客との関係性を活かし、買取専門店では得られない顧客体験を通してお客様のエンゲージメントを高めていく



ハピネスアンドデイ【単体】：36期（2026/8月期）下期計画

ヴィンテージ商品の拡大推移：下期は販売高の拡大、利益率向上に取り組む

(千円)

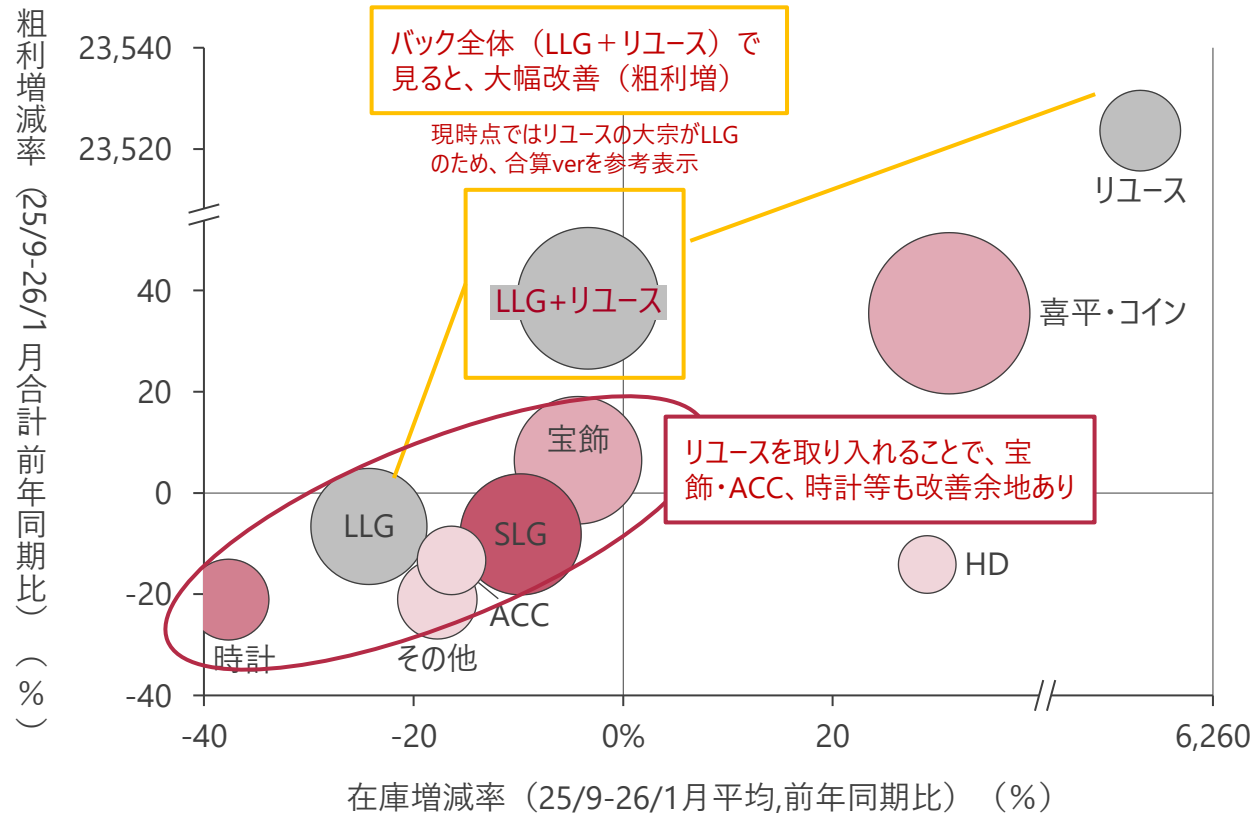


地金商品・ヴィンテージ商品の粗利・在庫状況

（ご参考）

引き続き「喜平・コイン」の拡大と「時計」の縮小は進捗、バック全体（LLG+リユースバック）のポートフォリオ改革が進んだことにより収益性が大きく改善

在庫増減率と粗利増減率の関係（円の大きさ＝25/9-26/1月粗利額）



- 喜平・コイン、時計の拡縮進捗**
 - 喜平・コイン：金価格の高騰や陳列強化により在庫金額は大幅増加も、地金需要の増加や黄金フェアの強化等により回転率は維持し増益を牽引
 - 時計：ロレックスを中心とした高額時計の圧縮は完了、今後はヴィンテージ品（レディース向けのブランド時計等）の本格導入も検討
- LLGの収益性が大きく改善**
 - 回転率が低い「ハイブランド品」を縮小させ在庫金額は減少した一方、「カジュアル」や「ヴィンテージ」等の高回転商品を導入したことにより、交叉比率は大幅改善（リユース+LLGで見た場合、在庫金額は前年比▲3%、粗利金額は+38%）

注1：「HD」は、HDジュエリー、HDバック、HD財布、HDギフト
 注2：「LLG」は、ブランドバック、「SLG」は配布等小物

【単体】2026年8月期 業績予想

ハピネスアンドデイ

2026年8月期は、前期比で店舗数減もあり、売上減少

上期末達であるものの粗利率の向上が順調に推移しており、当初の計画を据え置き
営業損失33百万円にまでの収支改善を図る

(百万円)	2025年8月期	2026年8月期	実績比
	(実績)	(計画)	
売上高	8,408	7,864	-544
売上総利益	3,308	3,244	-64
売上総利益率	39.3%	41.3%	+ 2.0p
一般管販費	3,652	3,277	-375
営業利益	▲344	▲33	+ 311
店舗数	57	54	-



HAPPINESS

2026年 8 月期第2四半期（中間期） 決算総括

序章：環境認識

第一部：ハピネスアンドディ

第二部：AbHeri

第三部：No.

第四部：JUNGOLD事業

第五部：連結業績予想

2026年8月期中間期 決算ハイライト【単体】

◆ 国内戦略

大阪店が1周年を経過し、東京・大阪・福岡の3拠点体制が固まる
インバウンドは中国顧客が伸び悩むも東南アジアや欧米が伸長
価格上昇のため、国内顧客は伸び悩み
大阪店、福岡店の足元国内需要向け掘り起こしが急務

◆ 海外戦略

インバウンド需要の延長線として海外市場を開拓する戦略
香港ジュエリーショー出店後から調整をすすめ、台湾への進出を
念頭に交渉進捗

AbHeri
(グループ会社 1)

AbHeri

【単体】2026年8月期 中間期総括

AbHeri

前年中間期対比増収減益 インバウンド需要が旺盛な銀座店以外は伸び悩み
人件費他のコスト構造を吸収しきれず中間期で営業赤字となる

(百万円)	2025年8月期 (中間期)	2026年8月期 (中間期)	実績差異
	(実績)	(実績)	
総額売上高	183	206	23
売上原価	66	71	5
売上総利益	117	135	18
売上総利益率	64.0%	65.5%	1.5%
販管費	116	141	25
営業利益	1	△6	△7
店舗数	3	3	0

AbHeri 海外市場への対応

2026年8月期（中間期）の業績は原材料や人件費の高騰により国内需要は減退するも、インバウンド需要で一定量をカバーした引き続き海外の卸売先開拓は継続

中国市場

香港・上海の卸先2社のみ
経済他の動向を注視

東アジア市場

シンガポール卸先1社のみ

市場調査

香港ジュエリーショー（毎年9月開催）
に定期的に出展を計画

台湾

卸先を開拓中

国内需要減退

国内既存店
(3店舗)

インバウンド需要

中国は減退
東アジア全体は好調

AbHeri 商品戦略について



スノードーム“Polar Bear”
限定品



チェーンリングタイプ“reticella”



AbHeri Original Jewelry Pouch
限定品

2026年中間期はお客様がAbHeriをより身近に感じて頂けるように限定商品や定番商品の追加アイテムを準備しました

- 2025年11月 スノードーム“PolarBear”をホリデーシーズン用に限定発売 ご好評のうちに完売しました
- 2026年3月 定番アイテムのReticellaのチェーンリングを発売
- 2026年4月 オリジナルジュエリーポーチを株式会社モルフォの制作協力のもとに限定発売

今後もAbHeriの世界観をより身近に感じていただける商品開発をすすめていきます



HAPPINESS

2026年 8 月期第2四半期（中間期） 決算総括

序章：環境認識

第一部：ハピネスアンドディ

第二部：AbHeri

第三部：No.

第四部：JUNGOLD事業

第五部：連結業績予想

2026年8月期 中間期ハイライト【単体】

◆ブランディング戦略

二桁ナンバージュエリー（No18）が2026年3月から発売開始
DeBeers社より国内2例目のトレーサビリティダイヤモンドとして指定を受ける
有名スポーツ選手のNo18の着用が各種メディア、媒体にとり上げられたことも
あり認知度は大きく向上

◆営業戦略（ポップアップ・催事）

催事企画は全6回開催
課題としていた卸売チャネルの開拓は2社で常設定番化商品と
して、5社で催事企画用商品として取引を開始
No18の認知度向上にあわせプロモーション活動を本格化させていく

No. ナンバードット
（グループ会社2）



No.

中間期総括【単体】 No. (ナンバードット)

通年販売化したこと、卸売開拓、催事販売を積極化させたこともあり増収し、損益は19百万円改善

認知向上にあわせプロモーション強化を図り、さらに損益改善を図る

百万円	2025年8月期(中間)	2026年8月期(中間)	実績差異
	実績	実績	
総額売上高	8	15	7
売上原価	4	5	1
売上総利益	4	10	6
売上総利益率	47.1%	70.5%	23.4%
販管費	41	28	△13
営業利益	△37	△18	19

No. ナンバードット / ブランド商品 イメージ①



グローバル共有できる数字「No.」を永遠のアイコンとし商品デザインに使用
年齢・性別・国籍などを越えたブランドを目指す



No. ナンバードット / ブランド商品 イメージ②



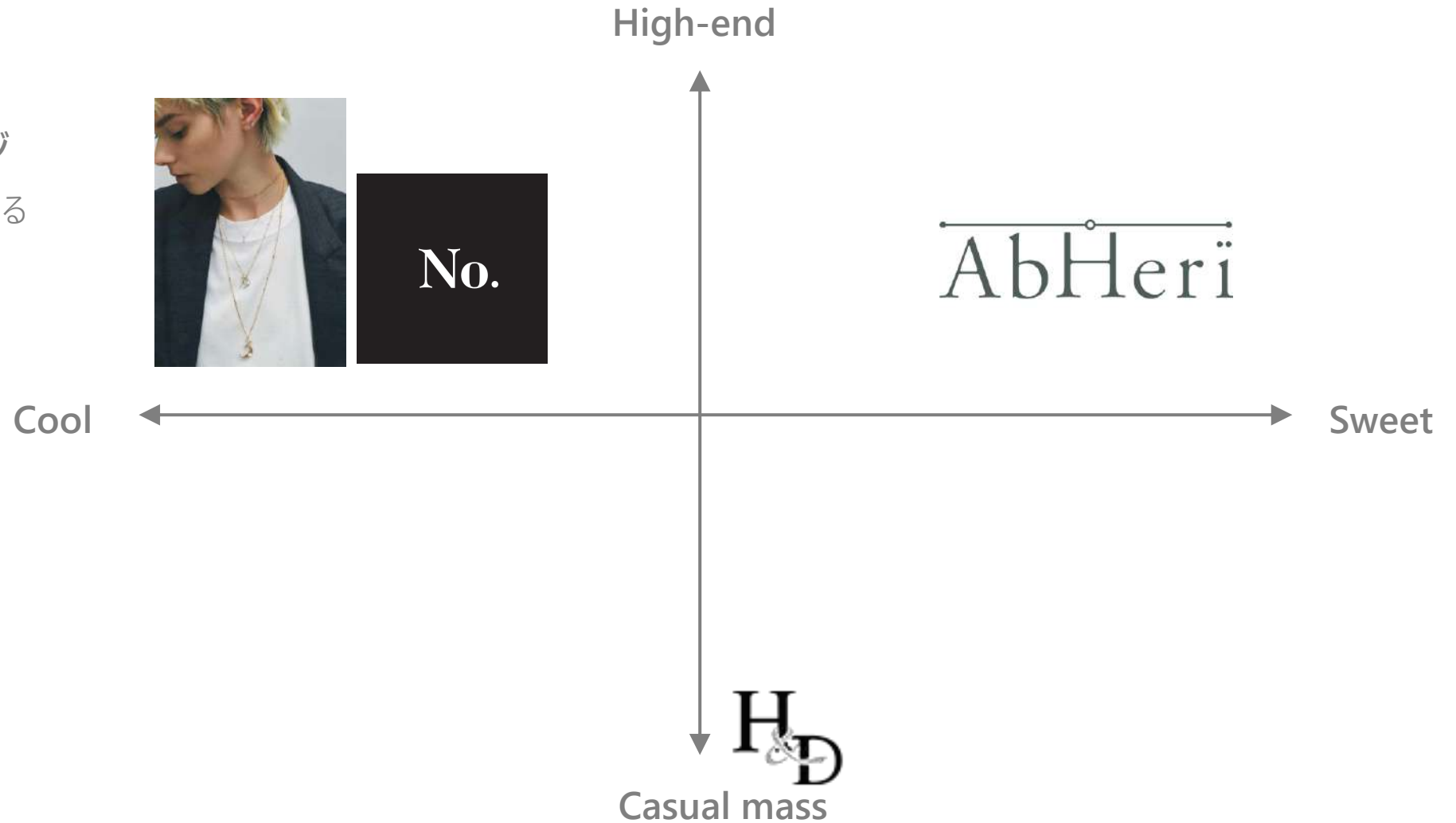
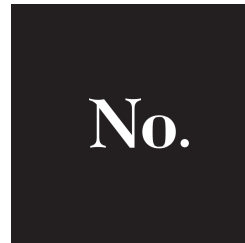
- 初の二桁のナンバージュエリーとして「18」を2026年3月にローンチ
- 「18」を象徴するラベルピンはTRACRダイヤモンドを使用
- デビアスグループのTRACRはダイヤモンドの採掘から鑑定書発行までの全工程をブロックチェーン上で証明しています
- No.は国内2例目のTRACR採用ブランド
- 有名スポーツ選手が着用したことでVOUGEJAPAN、HAPPER'S BAZAAR等のファッションメディアの他、ニッカンスポーツやYahooニュース等の一般メディアにもNo.ブランドの拡散に成功

ポジションと顧客イメージ

価格と商品テイストにわけたMapではNo.はCoolテイストのポジション
グループ会社AbHeriとは反対に位置する

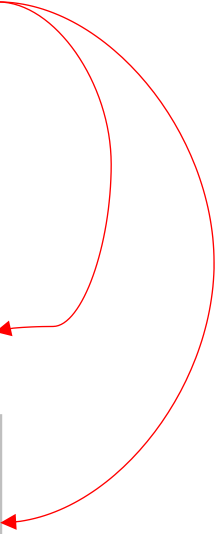
---- No. 顧客イメージ

ファッションに興味がある
30～50代
海外から訪れる人々



No. ナンバードット / 今後の活動

	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期
	商品販売の前提整備	ブランド認知度向上	利益貢献期
商品計画	事業/商品コンセプト 顧客イメージ 商品/パッケージ 商品生産体制整備	商品、ブランド ローンチ 販売スタート 商品計画は計画どおり	百貨店・ポップアップ店での ブランド拡散 二桁ブランド「18」発売
出店計画	EC、ポップアップ店舗準備	EC/ポップアップ店を主体に販売 全8回開催するも 単独催事開催の営業力が不足	EC/ポップアップ店体制は継続 卸売先のチャネル開拓
集客計画	プロモーション戦略 EC・Instagram	メディア活用による認知度向上 認知度は計画通り改善	アナログ + デジタル プロモーション強化





HAPPINESS

2026年 8 月期第2四半期（中間期） 決算総括

序章：環境認識

第一部：ハピネスアンドディ

第二部：AbHeri

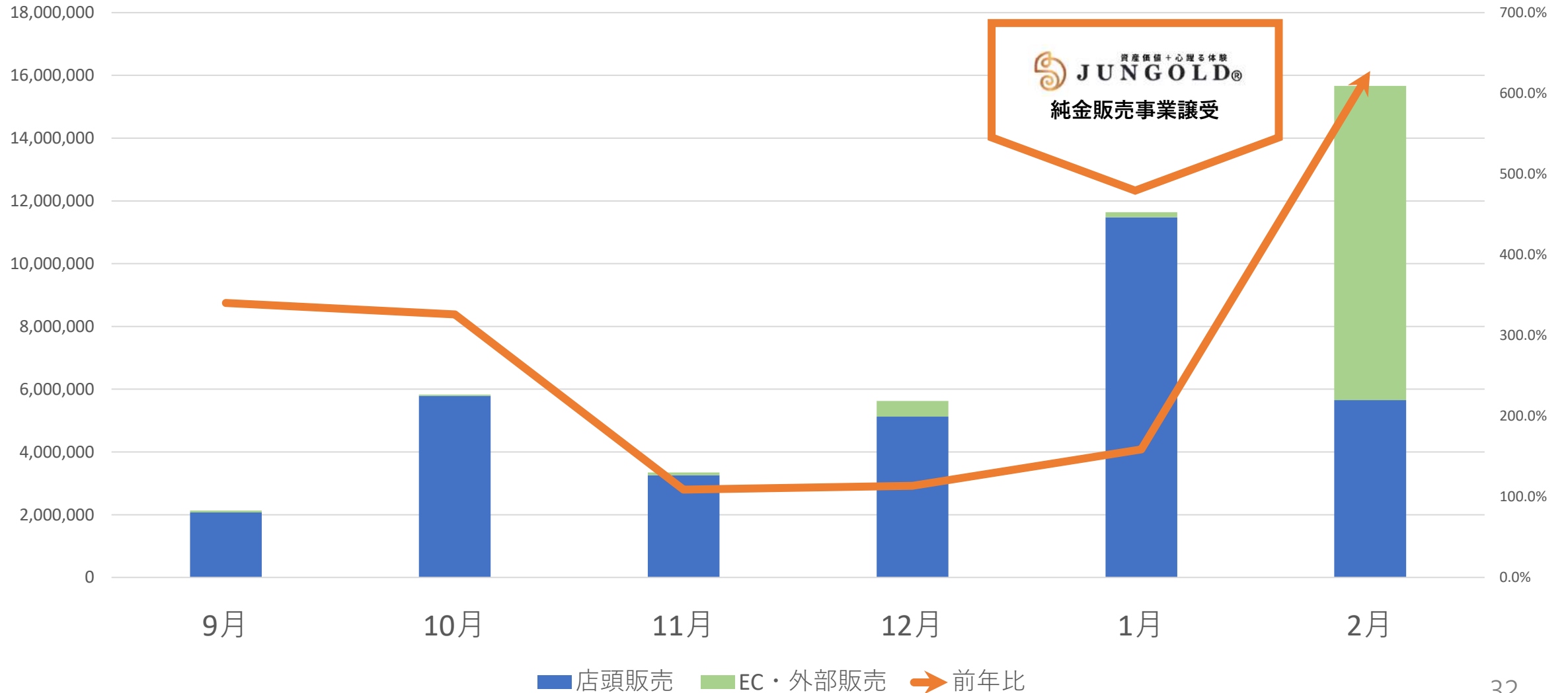
第三部：No.

第四部：JUNGOLD事業

第五部：連結業績予想

JUNGOLD事業：純金販売事業について

JUNGOLDブランド 当期売上高推移



JUNGOLD事業：EC販売の強化

【新たな販路の獲得①】

顧客基盤を持ったJUNGOLDオンラインショップでEC販売を強化

The screenshot shows the JUNGOLD online shop homepage. At the top, there is a horizontal carousel of various gold products, including a large gold coin, a pagoda, a dog figurine, two standing figures, a fish, a person, another fish, a seated figure, and a standing figure. Below the carousel is a green navigation bar with the JUNGOLD logo and menu items: HOME, CATEGORY, ABOUT, BLOG, メンバーシップ, CONTACT, and icons for user, search, and cart. A banner below the navigation bar reads "大人気、板と熊手は4月もちょっとお得な早割価格にて". The main content area features a large advertisement for "招福純金小判" (Shoufuku Pure Gold Bars) with a hand holding several bars. The ad text includes "特大サイズ10g" and "オリジナルデザイン7種類". To the right of the ad is a product category list with expandable options for "純金の仏像シリーズ", "純金のワンちゃんシリーズ", "CATEGORY", "【在庫あり】23営業日以内に発送します", "【新作】お得な期間限定価格", "【お守り】モチーフ、小判、コインなど", "【サイズ別】1g 0.3g 0.1g (標準小) 特大", "【価格別]", "かわいい資産【BABYGOLD】", and "【関連日】一箱万倍日、天敵日、巳の日など". A small product card for "招福純金小判" (Pure Gold 10g, 7 types of original designs) is also visible. At the bottom, a small text box says "① 純金「真の日の真」小判とコイン★かごペンダント「小籠＆桜の花びら」が新登場！".

JUNGOLD事業：オーダーメイド販売

【新たな販路の獲得②】

オーダーメイド販売事業により法人にも販路を拡大



企業様記念品

創立・周年記念に最適です。ロゴ入り純金製品でブランド価値と誇りを高め、感謝の想いを永続的な形で贈ります。



キャンペーン

「純金」の話題性と希少性で、記憶に残るプロモーションに。純金キャンペーンの約3割が当社の商品です。



限定の販売品

差別化と資産価値を同時に実現する、純金の限定販売品。純金の価値と販売元の差別化に貢献します。



HAPPINESS

2026年 8 月期第2四半期（中間期） 決算総括

序章：環境認識

第一部：ハピネスアンドディ

第二部：AbHeri

第三部：No.

第四部：JUNGOLD事業

第五部：連結業績予想

【連結】2026年8月期 業績予想

ハピネスアンドデイ
連 結

2026年8月期連結は、単体同様業績予想を据え置き
粗利率の向上施策に引き続き取り組み、営業利益30百万円を計画

(百万円)	2025年8月期	2026年8月期	実績比
	(実績)	(計画)	
売上高	8,841	8,481	-360
売上総利益	3,586	3,650	64
売上総利益率	40.6%	43.0%	+ 2.4p
一般管販費	3,990	3,607	-383
営業利益	▲404	30	+ 434
店舗数	60	60	-



ハピネス公式アプリ
今すぐダウンロード!



AbHeri公式HP

(株)ハピネスアンドディ (東証スタンダード 3174)

〒104-0061 東京都中央区銀座1丁目16-1 東貨ビル4F
TEL : 03-3562-7521

お問い合わせ先：ハピネス・アンド・ディ / 社長室

TEL 03 - 3562 - 7525
FAX 03 - 3562 - 7531
E-mail information@happiness-d.co.jp
URL <https://www.happiness-d.co.jp>

X



社長 前原 聡

X



ハピネス・アンド・ディ

note



・本資料は、投資家の皆様の投資の参考となる情報提供のみを目的としており、特定の商品についての募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません

・本資料に記載の業績見通し及び将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております
実際の業績等は、今後の事業領域を取巻く経済状況、市場の動向) により、これらの業績見通しとは異なる場合がございます